

1月28日：新型コロナの新たな市中感染への恐れからベトナム株は続落

クアンニン省とハイズオン省で、新型コロナの新たな市中感染事例が報告され、投資家から売りが出たため、木曜日のベトナム株は値下がり銘柄数が値上がり銘柄数を上回り6%安と続落した。

ホーチミン市場の主要指標であるVN指数は6.67%（73.23ポイント）安の1023.94ポイントで引けた。同指数は朝方71ポイント近く下げている。

値下がり数が値上がり数を上回った。下落数は478、うち276銘柄がストップ安を付け、20銘柄のみ上昇した。変わらずは12銘柄だった。

ハイズオン、クアンニン省で発生した新たな市中感染の報告は、直近の利益確定売りを受けたマーケットの重しとなった。

2つの市中感染は木曜の朝に確認され、ほぼ2か月間ぶりの国内感染となった。新たな感染事例の一つは、今週初めに仕事で日本を訪れ、新型コロナの変異株の陽性結果が出た女性に関係している。

木曜日の昼の時点で、これらの2つに関連するさらに82件が新型コロナの陽性反応だった。

ベトナム政府、地元当局、関係省庁は即座にコロナの拡散を抑え込むため必要な対策を実施した。

その日の立ち合いでは、ホーチミン市場の売買高が7億6,787万株以上、売買代金は約18兆4,000億ドンだった。

またVN30指数も6.73%（約73ポイント）下げ、終値1,010.75ポイントだった。

同指数の採用銘柄では29銘柄が下落、そのうち28銘柄が7%のストップ安をつけ、1銘柄のみ上昇した。30銘柄全てが朝方に値下がりした。

エクシムバンク（EIB）は朝方に下落した後、値を戻した。エクシムバンクの株価は2.26%高の18,100ポイントで引けた。

数百の大型株が7%下げ、銀行、証券、不動産、建設、公益事業、製造、情報技術、物流を含む全てのセクターが引き続き売られた。

値下がり率上位5銘柄には、ベトコムバンク (VCB) -6.98%、ビンググループ (VIC) -7%、ビンホームズ (VHM) -6.92%、ビナミルク (VNM) -6.97%、ベトナム投資開発銀行 (BID) -6.9%が含まれ、マーケットの重しとなった。

ハノイ市場では HNX 指数が8%以上売られ、終値 203.05 ポイントとなった。ハノイ市場の大型株 30 銘柄で構成される HNX30 指数は 8.2%下落した。

売買高は1億3,280万株以上で、売買代金は1兆8,400億ドンだった。

国内勢と対照的に、外国人投資家のマーケットへの資金流入が目立った。売買代金は、ホーチミン市場で4,820億9,000万ドン、ハノイ市場で269億4,000万ドンだった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。